

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和1年12月19日(2019.12.19)

【公開番号】特開2017-125603(P2017-125603A)

【公開日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-027

【出願番号】特願2016-217289(P2016-217289)

【国際特許分類】

F 15 D 1/12 (2006.01)

B 64 C 21/10 (2006.01)

B 64 C 3/14 (2006.01)

【F I】

F 15 D 1/12

B 64 C 21/10

B 64 C 3/14

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

翼型であって、

内側端部と、この内側端部とは反対側の外側端部と、

第1の側と、前記第1の側とは反対側の第2の側と、

前記第1の側に結合された連続するパネルであって、前記第1の側は前記翼型の低圧力

側であり、前記パネルが、第1の不均一な縁部パターンを有する第1の縁部を備え、前記第1の縁部はその上に配置された少なくとも4つの頂点を含み、前記パネルが、前記翼型の内側端部から外側端部まで延びている前記パネルと、を有し、

前記パネルは、更に、このパネルの表面に結合され且つこのパネルの長さに沿って均一に設けられた1又は2以上の渦発生器を有する、翼型。

【請求項2】

前記第1の不均一な縁部パターンは対称である、請求項1に記載の翼型。

【請求項3】

前記第1の不均一な縁部パターンは非対称である、請求項1に記載の翼型。

【請求項4】

前記第1の不均一な縁部パターンはジグザグパターンである、請求項1に記載の翼型。

【請求項5】

前記第1の不均一な縁部パターンは波状パターンである、請求項1に記載の翼型。

【請求項6】

前記パネルは、更に、第2の不均一な縁部パターンを有する第2の縁部を有する、請求項1に記載の翼型。

【請求項7】

前記第1の不均一な縁部パターンは、前記第2の不均一な縁部パターンと同じものである、請求項6に記載の翼型。

【請求項8】

前記 1 又は 2 以上の渦発生器は、前記第 1 の不均一な縁部パターンと実質的に同じ角度に配向される、請求項1に記載の翼型。

【請求項 9】

前記 1 又は 2 以上の渦発生器は、前記第 1 の不均一な縁部パターンと異なる角度に配向される、請求項1に記載の翼型。

【請求項 10】

前記 1 又は 2 以上の渦発生器のうちの少なくとも 1 つは台形である、請求項1に記載の翼型。

【請求項 11】

前記 1 又は 2 以上の渦発生器のうちの少なくとも 1 つは矩形である、請求項1に記載の翼型。

【請求項 12】

翼であって、

前記翼の内側端部と、前記内側端部とは反対側の前記翼の外側端部と、

低圧側と、この低圧側とは反対側の高圧側であって、前記低圧側及び前記高圧側は、これらの低圧側及び高圧側を空気が流れ去るときに、前記高圧側に合力を生じるように形成された前記低圧側と前記高圧側と、

前記翼の低圧側に結合された連続するパネルであって、このパネルが、第 1 の不均一な縁部パターンを有する第 1 の縁部と、第 2 の不均一なパターンを有する第 2 の縁部と、前記パネルの表面に結合された 1 又は 2 以上の渦発生器と、を備え、前記第 1 の縁部はそれに配置された少なくとも 4 つの頂点を含み、前記パネルが、前記翼の内側端部から外側端部まで延びている前記パネルと、を有し、

前記パネルは、更に、このパネルの表面に結合され且つこのパネルの長さに沿って均一に設けられた 1 又は 2 以上の渦発生器を有する、翼型。